緊急集会のご報告と御礼について

日頃より本会の事業活動についてはご尽力を賜り御礼申し上げます。

すでにご承知のとおり、去る 6 月 6 日に本会の主催により「知的障害者の福祉サービスの確保を求める緊急集会」を開催いたしました。

賛同団体は 17 団体、参加者は全国各地から利用者、家族などの当事者と事業者、賛同団体関係者など約 5 千 5 百名に及び、当初の予想を大幅に超えるものとなりました。また、国会会期中にもかかわらず、40 余名の国会議員の皆様に激励を頂くなど、大変盛り上がった集会となりました。

これもひとえに、皆様のご理解とご協力によるものと深く感謝申し上げます。

緊急集会後には、本協会並びに賛同団体の代表者が厚生労働省等へ陳情を行い、障害福祉部企画課長に対して緊急アピール文を手渡し、障害程度区分の抜本的見直しやグループホーム等の居宅サービスの経過措置導入などについて強く要請いたしました。厚生労働省は、その主意には理解を示しながらも、残念ながら具体的な回答は得られませんでした。一方、本会では、衆議院議長宛に請願書を提出することとしており、今後、更に、国会議員等との連携を図りながら、強く要請していくこととしております。

特に、この 10 月に迫っている居宅サービスの問題については、経過措置の導入に向けた強い働きかけが必要であり、その具体的方向については、来る 15 日に本職と副会長等で協議し、さらに皆様のご意見を踏まえて、早急に具体的対応を図りたいと考えておりますので、今後ともご理解ご協力方よろしくお願い申し上げます。

なお、緊急集会で激励等を頂いた国会議員の方々は別添のとおりとなっておりますので、ご報告申し上げます。ただいま本職において、それぞれの議員の方々に対して御礼のご挨拶に伺っているところでございます。

最後に、皆様のこの度のご尽力に対しまして重ねて御礼を申し上げる次第であります。

平成 18 年 6 月 12 日

財団法人　日本知的障害者福祉協会

会 長　小　板　孫　次